

墜落制止用器具
仕様書
(ワンタッチ式)

富士山南東消防本部

第1 総則

1 目的

この仕様書は、富士山南東消防本部が購入する墜落制止用器具について必要な事項を定めることを目的とする。

2 概要

この墜落制止用器具は、隊員が高所作業及びこれに伴う昇降時において、万一の墜落を防止するために使用される胴ベルト型墜落制止用器具とする。

3 墜落制止用器具の性能

この墜落制止用器具は、「墜落制止用器具の規格」（平成 31 年厚生労働省告示第 11 号）に適合するもので、本仕様書に定める性能を満たすものであること。

4 墜落制止用器具の条件

この墜落制止用器具に使用する材料、付属品は全般にわたって十分に検査が施されこの仕様書の全てを満たし、仕上がりが優良な製品であること。

5 包装

一組毎に紙箱に納めて納品すること。

6 数量

59 個

第2 仕様

1 製品仕様

- (1) 品名 TB-GB-OT521A(KS1)BK-BLK 船山型 130kg
- (2) 「墜落制止用器具の規格」（平成 31 年厚生労働省告示第 11 号）に適合するものとする。
- (3) 合成繊維を用いた細幅織でベルト幅50mm、ベルト長さは1200mm、1400mm、1600mmのいずれかとし色は黒とする。
- (4) バックルはワンタッチ式で着脱可能なものとする。
- (5) ランヤードはキンクの起きないG ブレードロープとし色相は黒色とする。
- (6) カラビナはアルミ製でオートロック式の変D 環型とする。
- (7) ショックアブソーバーは第一種 130kg 対応型とし、墜落制止時に衝撃を緩和する機能を有し、一端には胴ベルトと連結するための連結金具を、他端にはロープを連結するためのD 環を取付けた構造とする。

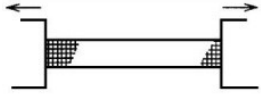
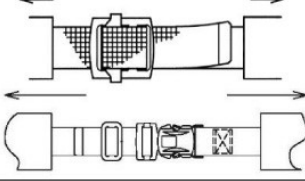
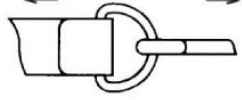
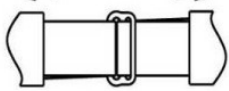
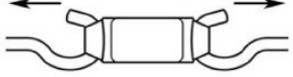
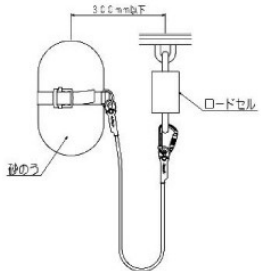
第 3 材料

部 品		材 料
胴ベルト		合成繊維を用いた細幅織のベルトを使用する。
ワンタッチ バックル	フレーム 差込プレート	J I S G 4 0 5 3（機械構造用合金鋼鋼材）S C M 4 3 5、またはこれと同等以上の機械的性質を有したものを使用する。
	ケース	合成樹脂成形品を使用する。
ベルト通し		J I S G 4 0 5 1（機械構造用炭素鋼鋼材）S 5 5 C、またはこれと同等以上の機械的性質を有したものを使用する。
D 環 連結金具		J I S G 3 1 0 1（一般構造用圧延鋼材）S S 4 0 0、またはこれと同等以上の機械的性質を有したものを使用する。
カラビナ		カラビナ本体は、J I S H 4 1 4 0（アルミニウムまたはアルミニウム合金鍛造品）、またはこれと同等以上の機械的性質を有したものを使用する。
ロープ		合成繊維製ロープを使用する。
ショックアブソーバ		合成繊維製ベルトを使用する。
すべての材料は、傷・割れ・錆・その他の欠点が無く、金属部の表面は平滑に仕上げ、耐食性の処理を施す。		

第 4 構造

部 品	構 造
胴ベルト	細幅織ベルトの一端にバックルを取り付け、他端はほつれ止め加工を施す。 ワンタッチバックル付の場合は、ベルトの一端にバックル本体を取付け、他端に差込プレートを取付けた構造とする。差込プレート側の端末はほつれ止め加工を施す。
ワンタッチバックル	装着の操作がワンタッチバックル式であること。取り外しの操作はツータッチ以上であること。 ベルト長さ調節が容易な構造とする。
ベルト通し	継ぎ目のないプレス打抜製とする。
D 環	継ぎ目のない一体鍛造製で、ベルトとの接触部分には摩耗防止の措置を講じる。
連結金具	継ぎ目のないものとする。 表面にはナイロンコーティングを施したものとする。
カラビナ	かぎ部は2つ以上の連続した操作によらなければ外れない構造とする。 ロープの横ずれを防止するためロープずれ防止ゴム環を取付ける。
ロープ	キンクが起きないブレードロープを使用する。 ロープの一端にD環を介してショックアブソーバを、他端にはカラビナを連結し、その取付部には摩耗防止の措置を講じる。
ショックアブソーバ	墜落制止時に衝撃を緩和する機能を有し、一端には胴ベルトと連結するための連結金具を、他端にはロープを連結するためのD環を取付けた構造とする。

第5 性能

試験項目	試験方法	規格値
性能一般	安全帯の各部は次の規格値に適合するものとする。 なお、繊維製品の引張速さは規定強度の50%までは毎分300mm以内とし、それ以上は毎分150mm以内とする。また、金属製品の引張速さは毎分25mm以内とする。	
胴ベルトの強さ		15.0kN以下で破断しないこと。
バックル連結部の強さ		8.0kN以下で破断、またはその機能を失う程度に変形しないこと。
D環の強さ		11.5kN以下で破断しないこと。
連結金具の強さ		
カラビナの強さ		11.5kN以下で破断、または外れ止め装置の機能を失わないこと。
ロープの強さ		15.0kN以下で破断しないこと。
ショックアブソーバの強さ		
組合せ品の耐衝撃性 および関連性能	 落下体：砂のう 100kg (130kg 対応型の場合は 130kg) 自由落下距離：1.6m	砂のうを保持できること。 衝撃荷重：4.0kN以下であること。 (2.2kN以上の平均値) ショックアブソーバの伸び： 1.2m以下であること。

第 6 表示

下記事項を安全帯の胴ベルトおよびショックアブソーバの適当な個所に、容易に消えない方法で表示します。

- (1) 胴ベルト

・ 製品名

墜落制止用器具

・ 製造年月

例：20ー01

・ 製造番号

例：000001

・ 製造者名またはその略称

FUJII-DENKO
- (2) ショックアブソーバ

・ 種類

胴ベルト型

・ ショックアブソーバの種別

第一種

・ 使用可能質量

例：100kg

・ 最大自由落下距離

例：1.8m

・ 落下距離

例：3.3m

・ 製造者名またはその略称

TSUYORON

第 7 概略図

